

きみつ市議会 だより

CONTENTS

- 2 第4回定例会のあらまし
- 4 議案等の審議結果
- 5 一般質問Q&A
(13議員が質問)
- 10 委員会の焦点
- 12 決算審査特別委員会の概要



第4回定例会

発行／君津市議会

編集／きみつ市議会だより編集委員会



清和地域拠点複合施設（おらがわ）がオープン

1月14日、清和地域拠点複合施設（施設愛称おらがわ）の開館記念式典が開催され、会場に集まった多くの方々とともに、これからの清和地区の発展を願い、小糸保育園の子どもたちの元気な声にあわせて「乾杯」を行いました。

清和地域拠点複合施設（おらがわ）は、清和地域市民センター、清和公民館、清和こども園、清和地域活性化センターを複合整備したもので、様々な人々の活動・交流による地域の活性化、持続可能な地域づくりを目指しています。



表紙写真：きみつ市議会だより編集委員 鈴木 高大



君津市
マスコットキャラクター
きみびよん

一般会計補正予算、 学校施設整備にかかる契約の締結など

議案38件、請願1件、 陳情1件を議決

第4回定例会は、11月28日から12月15日までの18日間の会期で開かれました。

今定例会では、初日に継続審査となっていた令和4年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど、5議案が認定されました。

また、令和5年度君津市一般会計補正予算（第6号）など市長提出の32議案、委員会提出の1議案、請願1件、陳情1件を審議し、慎重審議の結果、陳情1件が趣旨採択、そのほかの議案、請願については、原案のとおり可決・同意・採択されました。

一般質問では13人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

主な日程

第4回定例会（11～12月）

11/28(火)	本会議（招集日） 諸般の報告・会期の決定 認定案件にかかる委員長報告・討論・採決 議案等の上程 など
12/1(金) 4(月)	本会議 一般質問
5(火)	本会議 一般質問・議案等に対する質疑、委員会付託
7(木)	総務常任委員会
8(金)	教育福祉常任委員会
11(月)	建設経済常任委員会
15(金)	本会議（最終日） 委員長報告・討論・採決 追加議案の審議 など

反対

本会議における主な討論

賛成

きみさらず聖苑や水道事業にかかる負担金など、広域化に関する事業は、自治体固有の責任を放棄することになり、市民に対し君津市の責任が果たせなくなることから賛成できない。

認定第1号

令和4年度君津市 一般会計歳入歳出 決算の認定について

国の補助金等を効果的に活用し、時限的な給食費の無償化や、消費喚起・事業者支援など、本市独自の市民の生活を守る支援策が広く実施されたことは高く評価できる。

また、広域連携事業は、持続可能な行財政運営を行う上で必要なものと理解する。

広域水道事業であるかずさ水道広域連合企業団の規定する額に合わせることも、また料金引上げそのものにも賛成できない。

議案第14号

君津市飲料水供給施設の 設置等に関する条例の 一部を改正する条例の 制定について

水道料金を、かずさ水道広域連合企業団の額に合わせることは、市民の負担の公平性の観点からも理解できる。

敬老祝金の支給は、これまで社会の進歩・発展に貢献してきた高齢者の皆さんに敬意と感謝、そして健康に留意して長寿を願う視点で行われているものと認識しており、継続すべきである。

議案第18号

君津市敬老祝金支給条例 を廃止する条例の制定 について

高齢化が進行する中で、社会情勢の変化に合わせた制度の改革が行われているものと理解する。今後は、事業の趣旨である敬老の思いはそのままに、高齢の方が安心して暮らせるよう、真に必要とされる事業が展開されることを期待する。

一般会計補正予算

主な事業を紹介します

今定例会では、君津市一般会計補正予算（第6号・第7号）に係る議案の審議を行いました。
主な事業は以下のとおりです。

議案第 28 号 補正予算（第 6 号）

子ども医療費助成事業

6,101万7千円

医療費が当初を上回る見込みであることから、不足が見込まれる分を増額します。



屋外運動習慣化事業

107万8千円

寄附金を活用し、屋外運動遊園の健康増進器具を修繕します。



災害復旧事業 (道路橋梁・河川・農業施設・林業施設・農地)

計 2 億 3,600 万円

9月8日の台風13号接近に伴う大雨により被災した各種施設の災害復旧を行います。



おはら かわやつ
御腹川（川谷地先）



市道君津・清和線
（鎌滝地先）

議案第 32 号 補正予算（第 7 号）

キャッシュレス決済を通じた消費喚起事業

1 億 2,500 万円

物価高騰対策として、キャッシュレス決済を通じたポイント還元により生活者及び事業者を支援します。



住民税非課税世帯物価高騰対応重点支援給付金給付事業

5 億 7,766 万 6 千円

物価高騰による家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり7万円を給付します。



人事案件

に同意

◆人権擁護委員 齋藤 裕美子（陽光台）
能城 雪子（六手）
石井 和子（平山）

◆教育委員会委員 佐藤 薫（清和市场）



出席議員全員が賛成した議案、請願、陳情（全会一致）

◆市長提出議案

議案番号	件名
認定第3号 (継続審査案件)	令和4年度君津市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第1号～ 議案第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(計3名)
議案第4号	教育委員会委員の任命について
議案第5号	君津市農業集落排水事業の設置等に関する条例の制定について
議案第6号	君津市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第7号	一般職の職員の給与等に関する条例及び君津市任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第8号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第11号	君津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第12号	君津市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第13号	君津市空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第15号	君津市勤労者総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第16号	君津市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

議案番号	件名
議案第17号	君津市特別会計設置条例を廃止する条例の制定について
議案第19号	君津市神門コミュニティセンターの指定管理者の指定について
議案第20号	君津市駐車場の指定管理者の指定について
議案第21号	君津市バスターミナル駐車場の指定管理者の指定について
議案第22号	大和田・坂田小学校統合施設整備工事請負契約の締結について
議案第23号	大和田・坂田小学校統合施設整備電気設備工事請負契約の締結について
議案第24号	大和田・坂田小学校統合施設整備給排水衛生設備工事請負契約の締結について
議案第25号	はしご付消防自動車(40m級)製造請負契約の締結について
議案第26号	(仮称)君津市立貞元保育園新築工事請負変更契約の締結について
議案第27号	財産の処分について
議案第28号	令和5年度君津市一般会計補正予算(第6号)
議案第29号	令和5年度君津市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
議案第30号	令和5年度君津市介護保険特別会計補正予算(第2号)
議案第31号	令和5年度君津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
議案第32号	令和5年度君津市一般会計補正予算(第7号)

◆委員会提出議案

議案番号	件名
発議案第4号	特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正を求める意見書について

◆請願

請願番号	件名
請願第2号	「特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正を求める意見書」を政府等に提出することを求める請願書

◆陳情

陳情番号	件名
陳情第4号	J R久留里線の久留里～上総亀山駅間(9.6km)の存続について、賛同を求める陳情書

※陳情第4号は趣旨採択について諮りました。

賛否の分かれた議案

◆市長提出議案

議案番号	件名	議決結果	令和新政					創政会					きみつ未来		公明党		新 派							
			小倉 晴幸	小倉 広紀	大和ヒロシ	天笠 等	鶴岡 一成	奈良輪政五	三浦 章	大滝 浩介	四宮 安彦	鈴木 高大	下田 剣吾	保坂 好一	高橋 明	小林喜久男	瀧武 琢也	石上 壘	松本裕次郎	高橋 健治	佐藤 葉子	野上 慎治	三浦 道雄	林 祥子
認定第1号 (継続審査案件)	令和4年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について	○ 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号 (継続審査案件)	令和4年度君津市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○ 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号 (継続審査案件)	令和4年度君津市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○ 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号 (継続審査案件)	令和4年度君津市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○ 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○ 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○ 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	君津市飲料水供給施設の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○ 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	君津市敬老祝金支給条例を廃止する条例の制定について	○ 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わっていません。

表の見方 ○：賛成 ●：反対

Q & A

一般質問

第4回定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問の大綱については下記のとおりです（通告順）
 マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています。
 なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

小倉 広紀 議員

P.6

令和新政

- ・より良い学校環境の整備について
- ・市職員の働き方改革について
- ・防災力の向上について
- ・安定的な財政運営について

大滝 浩介 議員

P.7

創政会

- ・誰もが安心して暮らせるまち「きみつ」を目指して
- ・子育てが楽しくなるまち「きみつ」を目指して
- ・持続可能な公共交通について

大和 ヒロシ 議員

P.8

令和新政

- ・有害鳥獣対策について
- ・小糸公民館の再整備について
- ・治安がよく住みよい街づくり
- ・より活発なシティプロモーションを行っていくために

佐藤 葉子 議員

P.6

公明党

- ・子育て世代への包括的な支援の重要性について
- ・保育環境の充実について
- ・安心して暮らせる地域について
- ・女性の健康支援について

三浦 道雄 議員

P.7

諸派・日本共産党

- ・市長の政治姿勢について
- ・医療・福祉行政について
- ・教育行政について
- ・環境行政について

野上 慎治 議員

P.9

公明党

- ・市民が主役のまちづくりについて
- ・子どもが伸びる教育について
- ・安心・安全のまちづくり推進について
- ・君津市の活性化について

満武 琢也 議員

P.6

きみつ未来

- ・子育て世代への支援について
- ・地域社会のDX実現について
- ・地域の魅力、情報発信について
- ・安心・安全なまちづくりについて

石上 壘 議員

P.8

きみつ未来

- ・持続可能なまちの実現について
- ・持続可能な公共交通について
- ・財政運営について

下田 剣吾 議員

P.9

創政会

- ・課題解決のために
- ・活性化のために
- ・子ども、高校生のために

四宮 安彦 議員

P.7

創政会

- ・経済について
- ・農業について
- ・安心・安全について
- ・市民の意見を反映した市政にするために

高橋 健治 議員

P.8

公明党

- ・誰もが楽しく暮らせるまちについて
- ・経済と環境が調和したまちづくりについて
- ・安全・安心で暮らしやすいまちづくりについて
- ・市民サービスをより便利にするために

鈴木 高大 議員

P.9

創政会

- ・誰もがいきいきと生活できる地域共生のまちについて
- ・快適で安心して暮らせるまちについて
- ・経済と環境が調和したまちについて

林 祥子 議員

P.10

諸派・希望にみらい

- ・新型コロナワクチンのデメリットの周知について
- ・JR久留里線について
- ・デジタル化に関する危機管理について



令和新政
小倉 広紀 議員

より良い学校環境

Q 教職員の皆さんが学校現場を支えている。教育環境整備の一つとして、電話回線の増設を検討中であると伺っているが、保護者の負担軽減も含めてアプリケーションによる欠席連絡の導入を検討しているか伺う。

A 欠席連絡の手段として無料のアプリケーションなどのICT機器を活用する学校が見られるようになった。効果と課題について検証し、保護者と学校双方にとってさらに安全で利便性の高いアプリケーションの全校一斉導入に向けて、検討を進めている。

安定的な財政運営

Q 老朽化した多くの施設整備が必要であり、また職員の年齢構成を踏まえると、人件費などが財政を圧迫することが懸念される。今後どのようにして必要な財源を確保し、君津市を運営していくのか伺う。

A 喫緊の課題である老朽化した公共施設への対応は、整備に多額の財政負担が伴うため、様々な角度から取り組んでいる。また、上昇する経常的経費の対応も急務である。事務事業の見直しやDXの推進により、業務効率の改善を図るとともに、ファシリテイーマネジメントを推進し、優先順位を見極め、必要な事業を先送りすることなく着実に実施するなど、持続可能な財政運営に努めていく。



公明党
佐藤 葉子 議員

1こどもの発達に関する相談・支援体制強化

Q 乳幼児から18歳まで相談の入り口を「1こども家庭センター」とすることは可能か。

A 年齢を問わないワンストップ窓口として、専門職の確保と関係機関との連携強化を図る。

Q 身体の異常や発達障害などへの早期対応につながる5歳児健診導入の考えを伺う。

A 就学前の適切な療育につなげるなど、重要性を感じているため、体制構築を検討する。

1こども誰でも通園制度の導入へ

Q 保護者の育児負担を軽減し、保育園に通っていない未就園児に対してもよりよい保育環境を提供すべく、専業主婦家庭も定期的に利用できる保育制度の創設について伺う。

A 今後の国の制度設計を注視し、様々な角度から検討を進めていく。

正しいごみ分別・ごみ出しの啓発強化を

Q 自治会加入の可否に関わらず、スムーズなごみ出しにつながるよう、公式LINEアカウントの機能拡充など、ルールが守られる環境整備に向けた取組の強化について伺う。

A 一部では不適正なごみ出しや分別が見受けられる。分別、排出方法や収集日などの周知について、これまでの取組に加えて、デジタルコンテンツの活用に向けた検討を進めていく。



きみつ未来
満武 琢也 議員

きみつ赤ちゃん応援パック事業

Q 現状の市民からの要望、今後の取組について伺う。

A 市民の皆様から、親同士の交流の場が欲しいなどの要望をいただいております。同じ地域の親が知り合うきっかけとなる交流イベントを企画したところ好評であった。現在も各地域で交流イベントを試みており、今後は、公民館事業などと連携しながら、コミュニティの輪を広げていく。

新たなDX技術の追求

Q 24時間情報収集を行えるシステムが必要だと考えるが、本市の取組について伺う。

A 複雑多岐にわたる市民等からの問い合わせに対して、24時間適切に情報提供をしていくためにはデジタル技術を積極的に活用していく必要があると考えており、市民に対話形式で行政手続きをガイドする「手続きナビシステム」の活用や、「生成AIの利用」について調査研究している。

ホームページやSNSによる情報発信

Q 若者に特化したアカウントを開設し、情報拡散を図ることが効果的と考えるが、見解を伺う。

A まずは、現在運用しているXのアカウントにおいて、若年層を意識した文章表現等により、効果的な情報発信に取り組む。



創政会
四宮 安彦 議員
しみや やすひこ

JR久留里線

Q JR久留里線の必要性について、本市はどのように考えているのか。また現在、地元への説明会などが行われているが、市の取組を伺う。

A JR久留里線は、市民生活に欠かすことのできない路線であり、市では、JRや県などとも連携し、沿線地域の活性化につながる取組を推進している。住民の生活の質の向上につながる交通手段が確保されるよう、今後も検討会議において丁寧な議論を進めていく。

Q JR東日本が公表している2億円を超える赤字について、それが実質的な赤字なのか、会計上の赤字であるのか確認しているか伺う。

A 営業費用が収入を大きく上回っている状況を受け止めるしかない。

特殊詐欺被害対策

Q 特に人通りの少ない中山間地域では、高齢者のみの世帯も多く、近所の方々の目だけでは不安を抱えている市民も少なくない。自宅用の防犯カメラを設置することが効果的だと考えるが、見解を伺う。

A 自宅用の防犯カメラの設置については、犯罪発生を抑止や事件の早期解決への効果が期待でき、防犯対策に有効だと認識している。今後とも防犯意識の高揚と犯罪を起こさせない環境づくりに努めていく。



創政会
大滝 浩介 議員
おおたき こうすけ

保育士の処遇改善

Q 核家族で共働き世帯が多い現代、保育園では保育士不足が深刻。本市も保育士不足が続く、処遇改善・給料加算が必要と考えるが見解を伺う。

A これまでも、県にさらなる処遇改善を要望してきたが、保育士の賃金は、全産業の平均賃金を下回る状況にある。今後も国や県、近隣市の動向を踏まえ、有効な施策を調査研究していく。

障がいのある子を持つ親の就労

Q 在宅生活中心の重度の障がいのあるお子さんへの障がい福祉サービス提供体制を伺う。

A 障がいの状態、ご家族の状況は様々であり、利用者全てのニーズを満たせるよう、関係者と連携を密にし、今ある資源を最大限活かして対応している。引き続き、サービス提供体制の充実に努め、お子さんの障がいを理由に就労を諦めることがないように、全力で支援していく。

市街地における移動ニーズ

Q 免許返納をする方が増える中、人口の7割が居住する市街地において、移動ニーズを捉えたいきめ細かな対応が必要と考えるが見解を伺う。

A 家からバス停まで行くことが困難との声も届いている。持続可能な公共交通をどう構築するかが課題となる中、多様な輸送資源の活用とともに、利用者の目的に応じて、福祉や経済など他分野との連携、検討も進める。



諸派・日本共産党
三浦 道雄 議員
みつうら みちお

地域活性化対策

Q 久留里地区を中心に各種事業を展開してきた副次核整備の構想は怎么样了なっているか伺う。

A 平成17年に君津市副次核整備計画を策定し、第1期整備事業として、地域交流センターや観光交流センターの建設、駅前広場等の整備、第2期整備事業では、久留里駅入口の交差点改良などに取り組んできた。今後、久留里駅周辺や小櫃駅周辺の拠点機能の充実等に向け取り組んでいく。

学校給食費の完全無償化

Q 憲法第26条は「義務教育は、これを無償とする」と規定しているのに、なぜ、無償化に踏み切れないのか、見解を伺う。

A 物価高騰が続く中、学校給食の無償化をはじめ、義務教育に係る保護者への経済的支援の必要性を強く認識している。昨年度に続き、県の補助金を活用して第3子以降の無償化に取り組んでおり、引き続き国や県の動向を注視しながら、本市の実情を踏まえ検討を行っていく。

新井総合施設株式会社の動向

Q 第1期処分場の漏洩問題に関し、会社側が調査を実施したとのことだが、状況を伺う。

A 事業者が、新たな改善対策を検討するためボーリング調査を行ったことを確認しており、調査地点の廃棄物層が固結状態で透水性が低かったと聞いている。



きみつ未来
いしがみ
石上 墨 議員

君津インターチェンジ周辺の土地活用

Q 今年度は、どのような対象に絞り込み、企業アンケートを実施しているか伺う。

A 対象範囲を1都3県に本社が所在する企業を主とし、農業・製造業・卸売・小売業を中心に調査を行うことを検討している。

Q この事業を今後進めていくためには何が必要か。

A 「農地などの法規制の解除」、「地権者の同意」、「企業の開発及び進出ニーズ」の主課題3点に加え、インフラの整備や費用負担の課題もある。優先順位を検討し、スケジュール調整していく。

内みのわ運動公園のリニューアル

Q リニューアルにより、期待できる効果と整備イメージ、重視する点について伺う。

A カフェなどの飲食店や休憩スペースの充実、新たな遊具や水遊び場などの子ども向け施設を整備することで集客性が高まり、まちの活力やにぎわい創出が期待できる。また、老朽化した既存施設の改修、新たな施設の整備によるスポーツ振興寄与や、避難所として必要な機能や設備の導入など、防災機能を拡充することで市民の安全の向上を図ることが期待できる。子どもや子育て世代を中心に様々な世代が集い、楽しく1日を過ごせる身近なコミュニケーションの場として、にぎわいを創出することが必要であると考ええる。



公明党
たかはし
高橋 健治 議員

経済と環境が調和したまちづくり

Q 有害獣侵入防止柵の設置について、本市でも独自に補助を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

A 国で定める要件等を満たさない場合でも、市単独の事業として、補助を実施している自治体もあり、そうした事例について情報を収集しながら調査研究していく。

安全・安心で暮らしやすいまちづくり

Q 千葉県は、金属スクラップヤード等規制条例を制定したが、既存の事業者も許可を取得する必要があるのか伺う。

A 既に稼働している事業所においても、継続して事業を行う場合は、条例施行後、1年間の経過措置期間内に許可を取得する必要がある。市としても、県とこれまで以上に連携し、しっかりと監視、指導を行っていく。

市民サービスをより便利にするために

Q DX推進計画全体の進ちよくについて、また計画期間終了後の推進について伺う。

A 進ちよくについては、5か年計画の2年目として、おおむね計画どおりと考える。行かなくてもよい窓口や書かない窓口、基幹システムの標準化は、現在の計画で完了を見込んでいるが、新たな課題を踏まえて、次期計画を策定していく。



令和新政
やまと
大和 ヒロシ 議員

有害鳥獣対策における連携と後継者対策

Q 現状の対策では有害鳥獣の頭数減少までにはなかなか至らず、防護についても改善の余地があると考ええる。様々な機関との連携により、これまでは無かった新たな価値観や発想を取り入れながら、新たな捕獲や活用方法を模索することが有効と考えるが、見解を伺う。

A 市では農協や野生猿鹿猪等被害対策協議会と連携し、有害鳥獣の捕獲や防護柵設置等の対策に努めるとともに、民間の専門業者との連携により、発生状況の調査や講習会、地域ぐるみで対策を講じていくための指導・助言等に取り組んでいる。引き続き、専門的知見を有する団体等との連携について積極的に推進していく。

Q 頭数抑制に一定の効果がある捕獲だが、捕獲従事者の後継者育成の取組について伺う。

A 令和6年1月下旬頃に本市で有害鳥獣の捕獲を希望している方を対象に、免許の取得方法やわなの基礎知識などについて学べる研修会の実施を準備している。

通学路、未来を照らす、防犯灯

Q 暗い通学路の防犯灯を増やせないか伺う。

A 各自治会の要望に基づき、優先度を考慮しながら防犯灯の設置を推進し、安全で安心なまちづくりに努めていく。



公明党
野上 慎治 議員

学校は手段。子どもの成長・幸せが目的!!

Q 不登校の児童生徒が増えている。魅力ある学校づくりに取り組みとともに、子どもたちや家庭を温かく支援する仕組みの構築が大切だが、本市の不登校の実態と対策について伺う。

A 令和5年11月現在の市内の不登校者数は、小学校在48名、中学校が77名の合計125名であり、昨年度同月比で47名の増加となっている。スクールソーシャルワーカーの派遣や、教育支援センターきみつメイトへの通級を呼びかけるとともに、全国的に設置が進められている「学びの多様な学校」についての調査・研究を行っていく。

Q 空き保育園などを活用して、子どもの居場所を確保すべきと考えるが、見解を伺う。

A 教育支援センターきみつメイトでは、個別の支援とともに、様々な体験活動などを通して子ども同士がふれ合い、つながれる場も設定している。保護者が気軽に相談したり、語り合えたりするような運営のあり方を探っていく。

Q フリースクールの利用料補助を他市に先駆けて実施してはどうかと考えるが、見解を伺う。

A 他市の取組事例をもとに調査研究を進める。

Q 担任を支援する仕組みが必要と考えるが、見解を伺う。

A 様々な人的資源や県の機関と連携し、組織的な取組を強化することにより、負担軽減に努めていく。



創政会
下田 剣吾 議員

高校生が困る暗く危険な通学路の改善を

Q 高校生が自転車で帰宅する際、道が暗く、危険との声がある。また郡地区にできた大型ドラッグストア近くの通学路に歩道が設置されていない。いずれも改善すべきと考えるが見解を伺う。

A 市道六手貞元線の防犯灯設置は地元自治会の意向等を踏まえ検討する。国道127号の安全対策については、危機管理監からも国道事務所に要望する。郡地区は通学路合同点検で確認し、対策方法の検討を行う。

君津インター周辺開発は10年かかるのか

Q 開発には下水道整備や整地に10億円、10年以上かかるかと考えるが、補助金について伺う。

A 県の補助金があるが手法によっては該当しない場合もある。採算性の分析も行っていく。

20億円の財源不足、厳しい消防団確保

Q 経常収支比率が悪化した。財政の見通しと総合計画で進ちよくが厳しい点について伺う。

A 毎年平均約6.5億円の不足を見込んでいたが令和5年度約20億円の不足が生じた。施策評価で進ちよくが大幅に遅れているD評価となった施策分野は「消防・救急」「多文化共生」である。

Q 団員や家族の負担軽減が大切だと考えるが、入団者が減る中、団員の長期化の現状を伺う。

A 基本団員で一番長いのは36年8か月で55歳。機能別団員は28年8か月で55歳となっている。



創政会
鈴木 高大 議員

健康医療情報の活用

Q 持続可能な地域医療体制の構築と市民の健康や医療に関する情報に基づく施策を期待するが、メリットと課題について伺う。

A 今年度から、他市に先駆けて個人の健康情報であるパーソナルヘルスレコードサービスの普及を開始した。スマートフォンで健診結果、薬剤情報の確認ができ、医療機関の間で情報共有が可能であることから、導入する医療機関の増加に向け取り組んでいる。今後も利用者を増やす取組を進め、健康で元気に暮らせるまちを目指す。

農業と福祉の連携

Q 障がいのある方の社会参画を実現するため、就労支援が求められている。農業関連では、担い手不足などの課題があり、連携し取り組むことで双方にメリットがあると考えるが、現状について伺う。

A 農福連携の取組は障がいのある方の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において多様な人材を雇用することによる地域農業の活性化につながることを認識している。市では農福連携の取組を農業振興計画等に位置づけ、また、障害者基本計画では就労の促進・充実を掲げ、推進に努めており、具現化には、農業者と福祉関連事業者が理解を深め合うことが必要であり、意見交換を行っている。



諸派・希望にみらい
林 祥子 議員
はやし さちこ

新型コロナウイルスのデメリットの周知

Q テレビCMなどでデメリットだけが強調され、推奨されてきたワクチン接種だが、ワクチン接種後の重篤な副反応報告、死亡報告が上がっている。全てのワクチン接種は任意ということが忘れ去られ、会社から接種を強要されるなど、同調圧力が強くあった。実際は打っていても感染は収まっておらず、一方的な情報ではなく、薬害の歴史、デメリットの周知、他人のために打つというものではないということをしつかり伝えてほしいが、見解を伺う。

A 市はこれまで、接種は任意であり強制ではないことなども含め相談にあたってきた。また、副反応や予防接種健康被害救済制度のほか、ワクチン接種を周囲に強要してはいけないことなどもチラシ等で周知してきた。今後も市民が安心して接種できるよう情報の内容や周知方法について検討していく。

子どものワクチン接種のデメリットの周知

Q 新型コロナウイルス以外にも乳児や幼児が接種するワクチンがあると思うが、こちらも任意なのか伺う。

A 定期接種について、乳幼児及び小児を対象としたものが14疾病、高齢者を対象としたものが2疾病あるが、全てのワクチン接種は任意であり、強制ではない。

委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案等をそれぞれ審査しました。審査概要は次のとおりです。

※議案名は、議案等の審議結果(4ページ)を参照してください。

総務常任委員会



下田 剣吾 委員長

審査案件(議案第7号から議案第10号、議案第12号、議案第16号、議案第17号、議案第19号、議案第25号、議案第27号から議案第29号、議案第31号、請願第2号、陳情第4号)

議会議員・特別職の期末手当引上げ

議案第9号、議案第10号

(内容) 一般職の職員の期末・勤勉手当の支給月数の引上げを踏まえ、議会議員及び特別職の期末手当の支給月数を4.5月分へ、0.1月分引き上げるもの。

反対討論 特別職と議員の引上げ分については物価高騰の影響を受けている市民の生活支援に充てるべきである。(賛成多数で可決すべきものと決定)

財産の処分

議案第27号

(内容) 旧三島小学校の活用について、公募型プロポーザルで優先交渉権者として選定された事業者に土地、建物等を譲渡するもの。

問 事業者から提案のあったスポーツ合宿所としての活用について、供用開始時期を伺う。

答 募集要項において、提案した事業については、譲渡から2年以内を開始することにしている。(全会一致で可決すべきものと決定)



旧三島小学校

JRR久留里線の久留里〜上総亀山駅間の存続について、賛同を求める陳情

陳情第4号

動議 存続問題は、地域住民にとつて大きな関心事であり、存続を求める声は理解できる。一方、市の議論の進め方に異論はない。現在は存続や廃止を前提に置かず検討を進めていることから、議会として、存続すべきものとの見解を示すことはできないものの、陳情者の願意については賛同できることから趣旨採択としたい。(賛成多数で趣旨採択すべきものと決定)

教育福祉常任委員会



高橋健治委員長

審査案件（議案第6号、議案第11号、議案第18号、議案第22号から議案第24号、議案第26号、議案第28号、議案第30号）

議案第18号

敬老祝金の廃止

（内容）満88歳の方に3万円、満99歳の方に5万円を支給している敬老祝金を廃止しようとするもの。

問 廃止にかかる周知について伺う。

答 広報やホームページなどにおいて、丁寧に周知していきたい。

問 代替となる事業の内容について伺う。

答 これまでに実施したアンケート結果から、在宅生活の継続に必要な支援の需要が多くあることが明らかとなったため、従前より行っている敬老会や敬老訪問等に加えて、これらのサービスの充実を図っていきたい。（全会一致で可決すべきものと決定）

議案第22号から議案第24号

大和田・坂田小学校統合旧施設の工事にかかる契約締結

（工事概要）

①管理普通教室棟、特別教室棟の既存校舎長寿命化改修工事、増築棟1・2、の増築工事等（請負金額19億9千540万円）

②電気設備の設置工事等（請負金額5億7千420万円）

③給排水衛生設備にかかる新設・改修工事等（請負金額2億2千66万円）

問 増築棟2の活用方法について伺う。

答 1階の多目的室は、学校で使用するほか、災害時の避難場所や小中高の連携授業、地域の方の利用を想定しており、2階の少人数教室は、学習の習熟度に応じたグループ学習などに使用し、図書室についてはタブレット端末等を用いた多様な学習に対応できる形で整備を行う。（全会一致で可決すべきものと決定）



長寿命化改修工事を行う管理普通教室棟

建設経済常任委員会



鈴木高大委員長

審査案件（議案第5号、議案第13号から議案第15号、議案第20号、議案第21号、議案第28号）

議案第13号

空家等対策の推進

（内容）国の特措法の一部改正により、空き家の所有者等の責務が強化されることなどから、市、所有者、事業者の責務や市民の役割の規定等を行うもの。

問 市民と市の役割など、今後の空家等対策の体制整備について伺う。

答 自治会にもご協力をいただくなど、地域で情報共有等を行いながら、課題解決に向け、取り組む必要があると考えている。（賛成多数で可決すべきものと決定）

議案第14号

水道料金の改定

（内容）福野地区及び長者地区の君津市飲料水供給施設における水道料金をかずさ水道広域連合企業団の水道料金の引上げに合わせ、改定しようとするもの。

問 料金改定にかかる説明状況を伺う。

答 自治会及び各世帯を訪問し、個別に説明する中で周知している。（全会一致で可決すべきものと決定）

議案第20号

君津市駐車場（市営坂田駐車場）の指定管理者の指定

（内容）令和6年4月1日から5年間、タイムズ24・タイムズサービス共同事業体を指定管理者として指定しようとするもの。

問 指定管理者の変更に伴う影響等を伺う。

答 指定候補者から、
●1日の最大料金を520円から駐車後24時間以内500円とすること
●君津駅で交通系ICカードを利用した方への割引
●カーシェアリングの実施
などの提案があり、サービスの向上が図られるものと考えられる。（全会一致で可決すべきものと決定）



君津市駐車場（市営坂田駐車場）

効果を検証し、 次年度予算へ反映



10月23日の第1回臨時会において委員11名からなる決算審査特別委員会が設置され11月8日、9日、10日の3日間にわたり、令和4年度君津市一般会計決算をはじめとする各特別会計決算の認定議案5件の審査を行いました。



奈良輪政五委員長

慎重審査の結果、認定第1号、認定第2号、認定第4号、認定第5号は賛成多数で、認定第3号については、全員異議なく、原案のとおり認定すべきものと決定しました。委員会における主な質疑等、審査の概要については、次のとおりです。

歳入

県支出金(5.5%)
21億7,972万6千円

特定の事業に対して県から交付されるもの

地方譲与税(1.4%) 5億4,945万6千円

国が徴収した特定の税を一定の基準で市に譲与するもの

地方交付税(0.1%)
3,008万7千円

国税の一部から市の財政状況に応じて交付されるもの

地方消費税交付金など(7.0%)
27億8,603万1千円

地方消費税の一部が県から交付されるものなど

自主財源(60.1%)
238億4,170万6千円

市債(8.2%) 32億5,790万円

市の借入金

市税(44.9%)
178億2,083万7千円

市民税・固定資産税など

国庫支出金(17.7%)
70億4,126万6千円

特定の事業に対して国から交付されるもの

依存財源(39.9%)
158億4,446万6千円

分担金・負担金など(1.5%)
5億9,610万3千円

法律や条例に基づき、利益を受ける人にその費用の一部を負担してもらふものなど

繰越金(7.3%)
28億7,544万8千円

前年度から繰り越したお金

歳入
396億8,617万
2千円

諸収入など(6.4%)
25億4,931万8千円

貸付金収入、寄附金など

歳出

商工費(2.0%) 7億6,926万9千円

商店街の活性化や観光振興に要する経費

農林水産業費(1.9%) 7億4,813万5千円

農林業・畜産業などの振興に要する経費

消防費(4.3%) 16億5,094万2千円

消防・防災対策などに要する経費

議会費(0.7%) 2億7,431万円

議会の運営に要する経費

公債費(4.5%) 17億2,297万7千円

市の借入金返済に要する経費

その他(労働費・災害復旧費)(0.7%)
2億5,337万3千円

勤労者のための施設管理や台風などの災害復旧に要する経費

土木費(6.8%)
25億9,058万3千円

道路・橋梁・公園などの整備に要する経費

民生費(32.6%)
125億1,902万2千円

高齢者福祉や保育園、生活保護などに要する経費

教育費(12.1%)
46億4,984万9千円

教育や文化・スポーツ振興などに要する経費

総務費(17.9%)
68億5,119万7千円

市役所の管理・運営やバスの運行、徴税などに要する経費

衛生費(16.5%) 63億1,141万5千円

ごみ処理や保健衛生などに要する経費

歳出
383億4,107万
2千円

一般会計

認定第1号

問 法人市民税の収入額の推移について伺う。

答 過去20年間の収入額は、平成18年度の約44億円がピークであり、令和4年度の約6億9千万円と比較すると、約37億円の減収となっており、減収の要因は、景気の悪化や税率改定の影響が大きいと考えている。

問 清和地区拠点施設整備事業に、事業費削減の取組内容を伺う。

答 整備事業の基本計画を見直し、耐力壁の除去や増築を行わないこと、新設予定だった保育園調理室を管理教室棟に配置することなど、事業費の削減に取り組んだ結果、基本計画で予定していた工事費から約2億1千万円を削減し、約8億8千万円での契約締結となったほか、民間提案により机や椅子などの仕器の購入費用の削減を図った。

問 子育て世帯等への生活支援米配布事業に、事業実施の背景等について伺う。

答 子育て世帯等の経済負担軽減及び君津市産米の消費喚起・PRなどを目的として実施した事業であり、君津市産の新米の配布を行った。事業の実施にあたっては、新米の安定確保などの観点からJAきみつと随意契約を結ん

だものであるが、当該事業で購入した米の価格は、通常販売価格と比較して安価となっている。



配布した君津市産の新米「粒すけ」

問 危険ブロック塀等除却事業に、安全対策の進捗状況や危険ブロック解消に向けた啓発について伺う。

答 市内の通学路に面するブロック塀896件の調査を行った結果、傾きやひび割れ等のある特に危険なブロック塀は174件であった。令和4年度は39件の危険ブロック塀の解消を確認しており、現在も、補強・撤去の指導など、フォロアップ調査を継続している。

意見 危険ブロック

塀の解消は子どもの命に関わる重要な課題であることから、しっかりと目標を立てて、早急に取り組まれるよう強く望む。



国民健康保険特別会計

認定第2号

問 特定健診の受診勧奨の取組について伺う。

答 AIを使ったデータ分析により、対象者の特性に合わせて、7タイプの受診勧奨ハガキを発送しているが、上総地区については、令和4年度から、小櫃・上総地区内にある特定健診が実施可能な医療機関の所在地・電話番号等を記載した専用ハガキを作成し、発行している。

反対討論

認定第1号（一般会計）は、きみさらず聖苑や水道事業にかかる負担金など、広域事業について、

認定第2号（国民健康保険特別会計）は、資格証明書や短期被保険者証の発行等について、

認定第4号（介護保険特別会計）は、制度見直しのたびにサービス内容が低下していることについて、

認定第5号（後期高齢者医療特別会計）は、制度そのものについて、反対であるため、それぞれ同意できない。

賛成討論

認定第1号は、広域事業は持続可能な行政運営に資するものであると理解すること、

認定第2号は、資格証明書等の発行

は、負担の公平性の観点から必要な措置であると理解すること、

認定第4号は、地域包括ケアシステムの構築に向けて充実が図られていること、

認定第5号は、必要不可欠な社会保障制度であると理解する。



委員会の意見を集約し、執行部へ申入れを行いました

君津市議会基本条例の規定に基づき議員間討議を行い、12月15日の本会議の委員長報告において、以下の事項について、委員会全会一致の意見として、市へ申入れを行いました。

申入れ事項

① 今後も歳入面での大幅な増加は期待できないことから、既存の事業であっても費用対効果等を精査し、大胆な縮小や見直し等を検討していただきたい。
② 高い効果が見込まれる事業として予算措置をしたものの、結果として未執行となった事業が見受けられた。今後は、市民ニーズとマッチングできるように、市民や事業者等への効果的な周知を行い、事業の執行にあたっては、進行政管理に十分留意していただきたい。

石川県輪島市に本市のトイレトレーラーが出動しています



能登半島地震に係る災害義援金を送付

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により被災された方々を支援するため、君津市議会議員会(会員22名 小林喜久男会長)において、日本赤十字社へ22万円の義援金を送付いたしました。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧をお祈りいたします。

君津ニューイヤーマラソン大会に出席しました

1月13日、内みのわ運動公園で君津ニューイヤーマラソン大会が開催され、小倉議長をはじめとする関係議員が開会式に出席しました。大会には、大人から子どもまで228人が参加し、笑顔を見せながら元気に走っていました。



小倉議長もスターターを務めました

研修会に参加しました

1月19日に本市でかずさ四市議会議長会議員研修会を開催し、「気候変動について」、「南海トラフ地震について」の講演を聞きました。

講演では、地球温暖化による環境への影響や、いっどこで起こるかかわからない地震に備えることの重要性、津波などから命を守るための対応等について話がありました。

また、1月25日には、千葉県南市議会議長会議員研修会が開催され、本市議会議員も研修テーマである「人口減少社会における地方創生について」の講演を聞きました。



かずさ四市議会議長会議員研修会の様子

議会本会議を配信しています！

本会議のライブ配信・録画配信を行っています。また、本会議の翌日(土日祝日を除く)に速報版として無編集の録画映像を見ることができます。ぜひご視聴ください。

配信内容 定例会及び臨時会の本会議

注意 速報版は無編集の映像となっています。本会議後おおむね7日以内に議事日程や一般質問の議員ごとに編集した映像への切り替えを行います。配信内容は公式記録ではありません。視聴の際は、配信ページ内の注意事項を必ず確認してください。

アクセス方法 ①君津市議会ホームページの左下にある「インターネット中継」をクリック
②左側に「本会議ライブ中継」「本会議録画配信」等のメニューが表示されますので、視聴したいページを選択し、ご視聴ください。

☆スマホ・タブレットからでも視聴いただけます。通信費は利用者の負担になります。



議会配信はこちらから

令和6年 第1回定例会 2月15日(木) 開会予定です



きみつ市議会だより編集委員

- 委員長/高橋 明
- 副委員長/下田 剣吾
- 委員/高橋 健治
- 委員/鈴木 高大
- 委員/奈良輪 政五

- 発行/令和6年2月1日
- 編集/きみつ市議会だより編集委員会
- 〒299-1192 君津市久保2-13-1 君津市議会事務局
- TEL 0439-56-1497
- URL <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/>